

第3学年 事後検討会記録

令和元年 10月23日

記録 磯田美恵（柳生小）

1 単元名 「明かりをつけよう」

2 授業者 東二番丁小学校 教諭 仙崎裕美

3 授業者から

- ・指導案のめあてに「導線」というキーワードを増やした。導線は短くても良いなど、児童が予想した物を取り組ませた。
- ・指導案検討会の話合いで、前もって予想を用意するとよいとあったので、予想させてから本時に入った。
- ・本時では、児童は自分で考えた予想からたくさん実験ができたので満足だった。
- ・グループで発表する物を選ぶ前に、話し合う時間を設ければ良かった。
- ・グループで最後に、豆電球がついた物を黄色、つかなかった物を白の紙にかかせたが、時間がなくなってしまった部分もあり、書かせる意味はあったのか話し合ってほしい。

4 協議内容（グループ討議の結果のまとめ）

（成果）

- ・前時までに予想がしっかり立てられていたので見通しを持って、取り組めた。
- ・実験の時間を十分に確保できた。（追加実験できた。）→意欲的に活動できた。
- ・実験の具体的な予想がたくさん書かれていた。
- ・事前に児童の予想から、必要な物を用意していたのが良かった。（短い導線や長い導線など）
- ・ワークシートが工夫（簡略化）されていた。
- ・まとめを自分の言葉で表していた。
- ・結果を図と簡単な言葉で記録できていた。

（課題）

- ・本時は記録に重点を置いても良かった。
- ・実験器具の扱い方・・・導線を触っていて良いのか（安全面において）。
- ・理科の用語を確認する場面があると良かった。
- ・グループでつく、つかないが1点ずつしか発表することができなかった。
- ・発表する1点を選ぶ観点はあったのか。
- ・グループで話し合う時間を取り、整理しながら共有すると良かった。
- ・グループでの話合いでペンが1本だと、時間を要する。
- ・ワークシートは、予め豆電球が書かれていたほうが、グループでの話し合う時間をとれた。
また、共通の図として認識できた。
- ・共有の際、グループごとに書くと二度手間となるため、タブレットやカメラで撮って掲示する方法もある。
- ・詳しく記録するという評価規準を設けていたので、詳しく書かせるための工夫が必要。

(改善策)

- ・記録をさせる際に、「ついた」ではなく「プラスのでっばりの部分だけでなくともついた」などの書き方をさせるワークシートにしておく。
- ・つかない理由も前時の予想の段階で行っておく。本時はその確認作業で問題を解決する見通しになる。
- ・考察に近い展開まで本時が進んだので、記録するだけにとどめ、次回考察を行う。
- ・考察まで一気に行けば間延びしなくて、授業を進められた。
- ・グループで1つに絞らない方が、次時の考察の際に比べる材料がたくさんあって良い。
- ・記録する技能を全員に高めたいということから、自分の考えと自分以外の友達の結果も踏まえて、発表する回路を1つ選び、一人1枚カードを書いても良い。
- ・ワークシートを6枚のカードにして、「ついた・つかない」に分け、共通点探しを行う。
- ・手作り懐中電灯を本時か次時に提示して活用する。→ソケットの向きで考えが固定されるので、単元の終末で活用する。

6 指導助言

(1) 星健太郎（上野山小教頭）

- ・本時を参観して良い学びができた。
- ・本時は、児童の真剣に学習に向かう姿勢ができていた。本時は理科室で行ったが、普段から理科室で行わせるのが良い。席順（男女で座るなど）の規律がしっかりできていた。
- ・本時は第3時まで問題解決の活動が続くので、まとめがないという内容で良い。次のまとめ方が大事。どう整理してどうまとめるかが大切。共有の仕方としては、回路すべてを提示するのは難しい。カードを6枚切って行うのも、時間が掛かってしまうことが予想される。本時の中で、次時につながるカードをグループでの話し合いを基に選択させ、友達と共通のものを整理しておくなどの作業をするのも活動としては良かったと考える。この本時の思考が次時につながるので、厚みのある対話がグループ内で持て、関連した授業構想となるので参考に。
- ・漠然と予想を立てさせるのは難しい。事前に懐中電灯で必然性を求めたので予想が、たくさん出てきた。
- ・詳しい記録につなげるために「ねじれ」「長い」「短い」などのキーワードを教師が声掛けすると、焦点化されたまとめに一層つながった。
- ・紙とペンは書き直せないというプレッシャーがあるので、ラミネートやホワイトボードなど書き直しのできる教材を工夫することでより話し合いながら活動が進められると考える。

(2) 加茂伸一（実沢小校長）

- ・本時の児童の姿は、事前の活動が十分にできていたので、楽しく理科の授業に取り組めた。
- ・記録、整理の仕方は、今後の課題になっていく。予想したことの理由についても書ける児童だけでも書かせて、ピックアップする。できる児童から取り組んでいけばいい。
- ・教師が楽しい授業が、要素の濃い授業となっていく。
- ・安全面という点では、絵や図で提示すると説明時間を短くできる。
- ・素晴らしい授業提供と事後の話し合いで、より素晴らしいものになった。